

基本事業評価シート  
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード	32010001	担当課所名	選挙管理委員会事務局
<b>基本事業名 選挙管理委員会事務</b>			
総合振興計画 の位置づけ	分野	7	行財政運営
	政策	1	行政運営
	施策	-	(総合支所事業・内部管理・市の裁量の無い事務)
			総合振興計画 - ページ

**基本事業の概要**  
市民が積極的に選挙に参加すること、公平かつ適正な選挙を執行することを目的に、選挙に関する事務について調査・研究を行い、選挙執行態勢を整備する。また、選挙に関し必要な事項を周知する。

**対象** 有権者  
**意図** (対象をどのようにしたいか) 選挙に関心を持ち、積極的に投票参加し、公平、適正に選挙権を行使できるようにする。

基本事業指標	指標の算式	種類 単位	2年度	評価年度(3年度)		5年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
選挙管理委員会の開催数		活動指標 回	4	4	4	4	
意見及び苦情の申し出の数		成果指標 件	0	0	0	0	
管理執行上問題となった事項		成果指標 件	0	0	0	0	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名	指 標			目標値(上段)	種類	事務事業評価 5年度以降の 事業の方向性 コスト:成果	重点化
		事業費(円)			実績値(下段)			
		2年度決算額	3年度決算額	4年度予算額		単位		
01	選挙管理委員会運営事業	指標:選挙管理委員会の開催数			4	活動指標	A	
		1,428,000	1,428,000	1,437,000	4	回	維持:維持	
02	事務局運営事務	指標:意見及び苦情の申し出の数			0	成果指標	A	
		420,674	354,254	480,000	0	件	維持:維持	
03	市長・市議会議員選挙	指標:管理執行上問題となった事項			0	成果指標	D	
		1,657,791	29,109,206	0	0	件	完了:完了	
04	衆議院議員選挙	指標:管理執行上問題となった事項			0	成果指標	D	
		0	27,138,306	0	0	件	完了:完了	
05	市議会議員選挙	指標:管理執行上問題となった事項			0	成果指標	D	
		0	1,401,166	57,284,000	0	件	完了:完了	
06		指標:						
07		指標:						
08		指標:						
09		指標:						
10		指標:						
11		指標:						
12		指標:						
13	参議院議員選挙	指標:管理執行上問題となった事項				成果指標		
				37,251,000		件		
14	県議会議員選挙	指標:管理執行上問題となった事項				成果指標		
				17,334,000		件		

(参考)最終予算額(円)		3,719,000	74,862,000	
事業費の合計(円) (A)		3,506,465	59,430,932	113,786,000
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	360	40,846	54,586
	地方債	0	0	0
	その他特定	5,000	5	5
一般財源	3,501,105	59,390,081	113,731,409	
正規職員	業務量	2.00人	2.54人	
	人件費(B)	11,715,826	14,739,582	
会計年度任用職員 (事業費に含む)	業務量	0.00人	0.00人	
	人件費	0	0	
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		15,222,291	74,170,514	

**【重点化欄】**  
評価時点以降の事業の方向性から  
◎:特に重点化必要事業(1つ以内)  
○:重点化必要事業(1つ以内)  
△:劣後化可能事業(1つ以内)  
▲:特に劣後化可能事業(1つ以内)

成果の方向性	拡充	×	×	C,B	B,C	C
	維持	×	×	B	A	×
	縮小	×	×	C	×	×
	休廃止	×	×	D	×	×
	完了	D	×	×	×	×
	完了	皆減	縮小	維持	拡大	
	コスト投入の方向性					

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の「意図」を適切に数値化した指標になっているか？目標値の設定は適切か？また、実績値をどう考えるか？選挙は民主主義の根幹であり、目標値達成が大きな役割を担う。年4回の委員会に加えて、選挙執行の際にも、適宜、委員会を開催し、協議を重ね、公平かつ適正に選挙権を行使できる仕組みを構築している。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業の「意図」を達成するため、事務事業は必要な事業のみか？(過不足がある場合は、改善提案に記載する。)選挙を適正に執行するため、委員会の円滑な運営は不可欠であり、また、それを補助する事務局の事務も重要である。これにより有権者の適正な選挙権の行使につながるものである。
実施主体の妥当性	事業に対する民間(市民、企業、NPO)との役割分担や市の関与の仕方は適切か？法令により委員会での実施が義務付けられている。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要							
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、◎、○、△、▲を選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述								
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由							
改善の方向性(具体的な改善提案)を記述(改善内容、始期、終期等)								
予算を伴わない 短期的(1~2年)に 取り組む改善提案	引き続き、効率的な選挙を執行していくうえで各選挙のスケジュール管理を行い、明確化する。	2年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下) 効率的な選挙を執行していくうえで各選挙のスケジュール管理を行い、明確化する。  スケジュール管理表を作成し、明確化した。 <table border="1" style="float: right; margin-top: 10px;"> <tr><td>改善状況</td></tr> <tr><td>○</td></tr> </table>	改善状況	○				
	改善状況							
	○							
		<table border="1" style="float: right; margin-top: 10px;"> <tr><td>改善状況</td></tr> <tr><td> </td></tr> </table>	改善状況					
改善状況								
予算を伴う 短期的(1~2年)に 取り組む改善提案								
中長期的(3~5年)に 取り組む改善提案	投票所の設置箇所の見直しを引き続き検討する。	投票所の設置箇所の見直しを検討する。  各投票所の有権者数、投票者数等のデータを蓄積し、投票所の設置箇所の見直しに係る検討材料としている。						
行政改革大綱推進項目								
6-1-(3) 行政のデジタル化	デジタル化導入数	<table border="1"> <tr> <td>件数</td> <td>7-1-(1) 事務及び人事の効率化・適正化</td> <td>件数</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td> </td> <td>0</td> </tr> </table>	件数	7-1-(1) 事務及び人事の効率化・適正化	件数	0		0
件数	7-1-(1) 事務及び人事の効率化・適正化	件数						
0		0						
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 人口減少に伴い投票所の設置箇所の見直しを行うことで、選挙執行経費の削減に繋がることが期待されるが、一方で、投票所が遠方になることで、投票率が下がること等、懸念事項もあるため、慎重に検討していきたい。								

基本事業執行責任者 (担当課長名)	山田 千都	電話番号 0494-25-5225
----------------------	-------	----------------------